

活 用 事 例	大分市立大在中学校	望月陽一郎教諭
活用事例タイトル	使う（つかう）②・・・タブレット・アプリの実験活用	
対象授業科目/活動	各教科（理科）	
授業または活動の概要（目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICTの使用局面など）	<p>「物体の運動」を記録するため、タブレット・アプリを活用。素早い動きを動画撮影してもスローで見せることができるアプリを使用しました。</p> <p>まずは子どもに実験させて自分で撮影してみせた後、自分が実験をして子どもに撮影してもらい、それらを黒板に投影しながら画面に一定時間ごとの動きを書き込み、「動きの変化をみんなで確認」して考えていきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用教材　・・・スロー撮影アプリ（iPad）（無償アプリ・広告付） <p>広告はあらかじめ起動しておくことで、表示されないようにして使用。</p>	
評価、振り返り（活動の評価や児童・生徒の声など）	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の動画などで見るのではなく、その場で実験したものを、その場でスロー再生することで、「とても興味がわいた」「自分もやってみたかった」などの感想から、より身近な実験となったようです。 ・自分だけでなく子どもの代表者にも撮影させることで、タブレットの使い方・記録装置としての使い方を示唆することができました。 ・ICTの活用例のひとつとして「iPad 通信」に載せ、先生方に配布し啓発を続けています。 	
ICT活用により期待できる効果 ICT活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に示されているストロボ撮影に代わる提示をするため、発想を変えスロー撮影できるアプリを探して使用しました。 ・ある程度の時間間隔で一時停止させながら、黒板にその位置を書き込み（教室での授業のため、黒板に「どこでもシート」を貼りプロジェクターで投影）ました。子どもたちは映っている画面に集中して取り組むことができました。 	
その他 (関連WEBサイト等ありましたらご記入ください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめiPadにインストール済みアプリしか使えない（許可されていない）ため、自分のタブレットを使わざるを得ないのが、困っているところです。 <p>→ ※無償アプリがインストールできるようになりました。</p>	